様式

令和６年度ひろしま自然保育推進事業　活動報告書

○活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
○データのサイズは、写真を含め、８M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
○こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和 7 年 3 月 31 日

団体所在地　東広島市河内町河戸 802-2
団体の名称　東広島市
職・氏名　所長　伏原　香緒里
（施設名　東広島市立河内西保育所）

１　活動報告

【４月～６月】(春季)

（活動内容）
・上り棒にチャレンジする子どもが増えたが、上り棒の下が固くケガにつながるため、保護者に協力していただき、ふわふわ土に改良。
・友情の証にと近隣の保育所との交流で譲り受けた亀を飼育。最初についていた名前を変更したいと郵便局に手紙を出して、「く～ちゃん」と名付けた亀をみんなでお世話。

【７月～９月】(夏季)

（活動内容）
・ツバメの子育てを観察。
・砂山に地域の企業さんからいただいたシートを使ってウォータースライダーを楽しむ。

【１０月～１２月】(秋季)

（活動内容）
・山探検…地域にある近くの森林の中を探検！
・園庭の柿で干し柿づくり、森林探検の保存食に！
・園庭の樹木のネームプレートを親子で一緒に作成。
・秋の味覚、焼き芋大会。今年は３種のサツマイモを栽培し味比べ。

【１月～３月】(冬季)

（活動内容）
・今年は雪がいっぱい積もったので、雪遊びをいっぱい経験。
・焚火で焼きマシュマロを堪能。火起こしにもチャレンジ。

活動報告（詳細）

１シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード１つご記入してください。
エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。
写真は基本１枚です。

【４月～６月】

（写真）

（エピソード記述）

園庭にある登り棒、最初はみんな登れなかったのですが、『一番上まで登りたい』という子が増えました。てっぺんは景色もよく、一番下の地面は固く、ケガをしそうで不安な子どももいて環境整備で保護者がふわふわ土への取り組みに参加してくださいました。

土が変わったことと、保護者の皆さんが一生懸命作ってくれたことで、上り棒への情熱も増し、あきらめずに毎日練習する子どもの姿がありました。コツコツと続ける力が育っています。

【７月～９月】

（写真）

（エピソード記述）

毎年保育所にやってくる、ツバメたち。ツバメの糞が気になりながらも、受け入れ態勢を整え、ツバメの子育てを観察。巣の中の卵や卵からかえったヒナに大感激の子どもたち。巣立つまでずっと見守りました。

ツバメが毎日泥を運んで鈴栗をする姿や、卵を産んで毎日交代で温めている姿、ヒナになり毎日親鳥から餌をもらうヒナたちを見て、「あのこ、ほかのこよりからだがちいさいね、だいじょうぶかな？」と観察しながら大きさに気付いたり、思いを寄せる子どもの姿がありました。小動物への愛着や思いやりが育っています。

【１０月～１２月】

（写真）

（エピソード記述）

「散歩に行ってきます！」「どこに行くの？」「やまみちたんけん！」と元気いっぱいの子ども達。地域の方に挨拶したり、いろいろな植物や木の実に触れたりしながら地域さんぽを楽しんでいます。

山道を登り、竹林では、竹を掴みながらがけのぼりにも挑戦。優しいコース、少し難しいコース、険しいコースと、自分が登れそうなコースを選び挑戦する力が育ちました。

経験を重ねると登るコツを友達同士で伝授しあう姿も見られるようになりました。

【１月～３月】

（写真）

（エピソード記述）

雪がたくさん降った日に雪遊びができました。ゆきだるまづくりでは赤組さんと幼児さんが一緒になって、どんどん大きくなる雪玉を一生懸命転がしていました。

三段雪だるまに挑戦したり、雪うさぎを作ったり、そりすべりをしたりと、大喜びのこどもたちでした。そり滑りでは座る角度で勢いが変わることに気付き、速さを試す姿も見られました。

２　その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

・　職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12 月）

・令和 6 年度第 1 回広島保育推進交流会参加（6 月）

・自然保育研修参加（9 月）

・こども環境管理市を所長が取得（12 月）

・市街地で自然保育（2 月　アーカイブにて受講）

・　地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

・お散歩の定番コースに地域でヤギを飼っている方との交流をもち、定期的にふれ合いをさせてもらう（月 1 回程度）

・近隣の保育所との交流で、友情の証に飼っていた小さな亀を譲り受け河内西保育所で飼育

・地域の企業から端材やシートをいただき、花壇や遊びに再利用（随時）

・　保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

・園庭の安全を点検し、環境整備を行う（年 1 回）

・園庭の樹木にある樹木について調べ、親子でネームプレートを作成。（11 月）

・野菜を保護者と一緒に栽培、収穫したものを家庭に持ち帰りクッキング（6 月）

・　その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

ＵＲＬ	